

学術局活動報告書

令和3年7月30日

阿倍野区理学療法士会学術局長 山崎道晴

1. 件名

阿倍野区理学療法士会研修会主催 新人教育プログラム(C2・C5)

2. 日時・講師・テーマ

2021年(令和3年)7月27日 火曜日

1部 18時50分～19時53分

テーマ:大腿骨頸部・転子部骨折後の理学療法

講師:山崎 道晴(帝塚山リハビリテーション病院)

2部 20時02分～21時04分

テーマ:地域リハに求められる視点 在宅復帰・介護予防

講師:青山直嗣(シャローム訪問看護ステーションサテライト阿倍野)

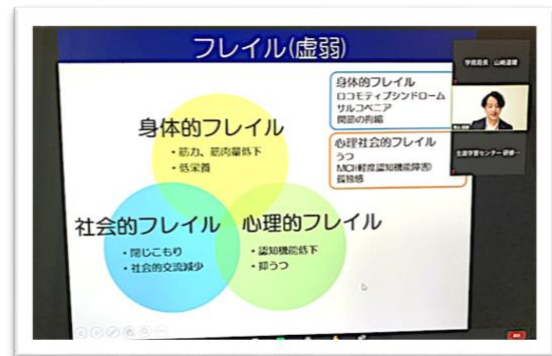
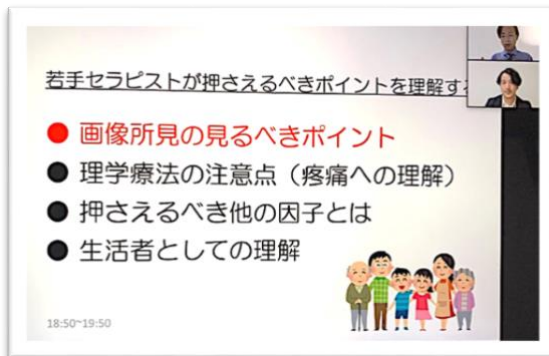
3. 場所

WEB(ZOOM を用いてオンラインにて実施)

4. 参加者(運営スタッフを除く)

1部:13名 2部:10名

5. 活動風景



6. 所感

今回、『若手セラピストが押さえるべきポイント』というコンセプトで開催させていただきました。運動器リハビリでは、いかにリスクを考慮した上での在宅を見据えた介入の必要性、地域リハビリでは、地域資源とセラピストの役割、フレイルへの認識を伝えてもらいました。今回の研修で、目の前の、患者さんや利用者さんのリハビリの視野が広がり、地域包括ケアシステムの中での押さえるべきポイントをより一層理解できたらと思います。